

# 新春講演会 報告

小島 武雄

平成30年1月19日(土)1月とは思えない暖かさと日差しの日、奈良市中部公民館4階にて、午前10時より11時40分まで行われました。出席者は60名以上(会員、表彰式出席の子供たちとご家族他)。

講演会に先立ち、「見つけよう自然のなかま」ならやまの昆虫と植物たち図録集の表紙デザイン作品入賞表彰式が行われ



ました。5名の子供たちに表彰状と記念品が贈られ、子供たちに感謝と激励拍手が送られ、会場は和やかな空気に包まれました。

本講演会の講師には、会員の皆さまより是非との要望により、甲南大学特別客員教授の田中修先生をお迎えしました。専門は植物生理学。主な著書「植物のかしこい生き方」「植物はすごい」「植物のひみつ」など。主な出演番組は、NHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」朝日放送ラジオ「おはようパーソナリティ道上洋三です」NHKテレビ「アインシュタインの眼」日本テレビ「世界一受けたい授業」など多数。

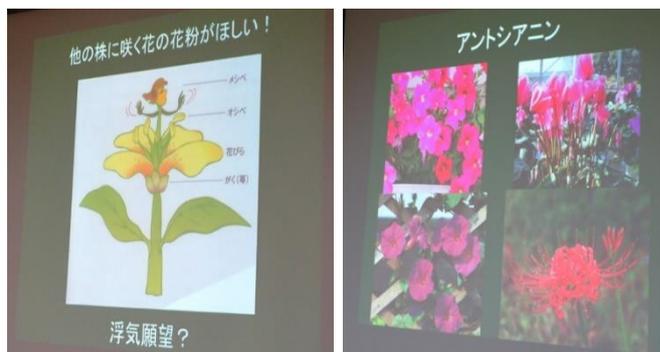
鈴木会長より、田中先生の「植物の主体に立っ

た論点」科学でもまだ解明できない植物の葉の素晴らしさについてのお話が聞けるとあいさつがあり、



講演は始まりました。演題は「植物たちの生き方に学ぶ」です。

冒頭にラジオ放送された録音で、暗黒の中で光を探して成長するモヤシのたくましさについて。そして田中先生のやさしい語り口で、なぜ植物は何も食べずに成長できるのか？昔、人は口から食べ物を取るように、植物は根から食べていると、信じられてきた。今は光合成の力と解っているが、それでも今の科学でも、この葉っぱ一枚の作りだす力に及ばないこと。植物は食べ物を探し動き回る必要がない！動物が動き回る理由は子孫を残す相手を求めて！花壇の花は無駄な横並びの競争を避ける！花粉は浮気願望でも保険をかける慎重さ！マツ、モミは寒さの中で緑に輝くために蓄える！厳しい試練に耐えてこそ、「ひと花咲かせる」ためには？アントシアニンで紫外線から体を守る！植物たちは準備を怠りなく生きている。花はやさしい言葉で育てられたら、大きく育つの？



なぜ、不思議など身近な事柄や素朴な疑問を、平易で解りやすくお話いただき、講演時間の1時間半はあっという間に、もっとお話を聞きたい気持ちいっぱいのところ、予定時間が来てしまいました。質問時間の後、羽尻副会長より閉会のあいさつにて講演会は終了。

その後、田中先生を交えて、会場を近くの花小路に変えて懇親会を行いました。会場準備等、皆さまのご協力、幹事の方々、ありがとうございました。